

## 滑り面(すべりめん) | slipping plane

電気泳動の速さから求めた $\zeta$ -電位は、一般に、電位決定イオンの濃度から計算される表面電位( $\phi_0$ )の値と比較すると遥かに小さい値となる。これは $\phi_0$ の計算では計算式に固体表面の最近傍まで液体と同じ性質を持っており、ギリギリの所までバルクの液体と同じ粘性流動を行うものと仮定して求めたためである。実際には固体表面近傍の液体は高粘性の半固体状態を取っており、殆んど流動をしないと考えられている。従って電気泳動実験で求められる $\zeta$ -電位はこの面{slipping plane と呼ぶ}における拡散層の電位であることが解る。しかし、この半固体層の厚さやslipping plane の場所については、今のところあまり明確にされていない。

(古澤)